



2014年7月発行 No. 102
 発行者 西島啓喜 編集者 西島啓喜
 発行所 〒080-0809 帯広市東9条南8丁目1-3
 帯広バプテスト・キリスト教会内
<http://hokkaidobap.jimdo.com> pw:jbc1947

巻頭言

開拓伝道者、パウロへの励まし

北海道バプテスト連合 会長 西島啓喜（帯広教会）

「ある夜のこと、主は幻の中でパウロにこう言われた。『恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる。だから、あなたを襲って危害を加える者はない。この町には、わたしの民が大勢いるからだ。』（使徒言行録 18・9～11）

アテネからコリントに移ったパウロに語りかけた主の言葉です。偶像に溢れ哲学の盛んな都、アテネでの伝道は大きな成果をあげることができず、かえって冷笑を浴びる結果に終わりました。失意のうちにコリントに移ったパウロは、その時のダメージを「そちらに行ったとき、わたしは衰弱していて、恐れに取りつかれ、ひどく不安でした。」（一コリント 2・3）と書き残しています。しかし、コリントもまた名だたる世俗的な雰囲気になった町。福音を受け入れるどころか、パウロの命すら狙おうとする勢力に脅かされながらの伝道でした。パウロの思いは、あわよくば次の伝道地に移動しよう、そんな腰の座らない姿勢であったかもしれません。そのようなパウロに主は「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。わたしがあなたと共にいる。」と励まします。恐れを抱いている目には不利な条件しか見えないかも知れません。しかし、信仰の目をもって見れば、大勢の主の民がすでに備えられている、そのことを確信して語り続けるよう励ましたのでした。パウロはその声に聞き従い、「1年6か月の間ここにとどまって」教え、コリント教会の基礎を据えたのでした。

さて、私は6月29日、釧路の講壇支援に行ってきました。前日の土曜日、頼まれていた電気工事を終え、2階の牧師館に泊まらせてもらいました。まだまだ新築の匂いのする牧師館でぐっすり休み、早朝小鳥の声に気持ちよく目を覚ますことができました。シンと寝静まっている周りの街並みを眺めたとき、ふと、初代牧師の永松先生もこうして（町の様子は変わっていても）教会の周囲を眺め、「神の民」のことを考えていたのだろうか、と思わされました。今日であれば朝の9時過ぎには誰か彼来て、10人前

後の礼拝を守ることが確実に保証されている。決して孤独感を味わうことはありません。でも開拓伝道ともなると、時には（あるいはほぼ常に）家族だけで礼拝するといったこともあったのではないかと。（私は富山伝道所の牧師が入院したとき、金沢から講壇支援に行き、牧師家族と私たちだけで礼拝を守ったことを思い起こします。）

ラジオの英語講座の時間に「create」という言葉の解説の中で「1から2を生み出すより、0から1を生み出す（つまり創造）することははるかにエネルギーのいることではないか」と言われていたが、なにもないところから「開拓」伝道する、という事は途方もなく大きな事業であったことだろうと改めて思われます。

私が釧路に行っていた同じ日、帯広教会では教会創立記念礼拝が持たれ、教会と同じ年齢の齋藤聖彦執事が説教の任に当たりました。兄は其中で、「帯広は1972年に自給化を目指したが、その矢先に教会を担ってきた人たちが次々と転出するという危機に見舞われた。それでも齋藤正人牧師は、「十字架の勝利が約束されている十勝にあって伝道所を生み出す教会形成に努めたい」と開拓伝道の夢を込めて力強く教会組織を宣言した」ことを紹介しました。

こういうスピリットは初代の教会だけのもので、今の私たちには無縁のものでしょうか？1から2を生み出すエネルギーさえも、もはや期待できないのでしょうか？10月に、信徒セミナーに合わせて開拓伝道についての「宣教会議」を計画しています。ぜひ、熱い思いがぶつかり合う場となることを期待します。

●釧路教会の現状について

釧路教会 佐々木幸子

無牧師になって4年目。この間各教会のみな様のお祈り、ご支援いただき心から感謝いたします。ご支援、そして祈っていますとの言葉に励まされております。

今年度は与えられ新会堂が十分用いられるように計画しております。

8月5日夏季学校、23日コンサート、24日伝道集会を行います。

現在行っている「ママのためのリフレッシュタイム」にきている参加者、とくに子どもを対象のコンサート、そして近隣の方々に教会堂のお披露目を目的としたコンサートを連合音楽委員会の皆様のご協力により進めています。

与えられた会堂で神様のみ言葉を伝える伝道をどのように進めて行ったらよいか考えてきました。現実には礼拝を行っていくことに力が費やされ訪問も、伝道も思いとは裏腹に十分行うことができません。まして教会員の年齢が高くなり、限られた人数で行っていこうとすると今までの方法ではとても難しくなっています。現在の状況の中でできる方法で行っていくことを決断しました。

釧路教会は何よりも牧師が与えられることを祈っております。連盟に所属する教会で無牧師のところは釧路だけではないことを考えるとこの3年はたいした期間でも無いように感じたりもしますが、時には落ち込んだりしております。

しかし、今年度与えられた聖書の箇所

『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそキリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。』

(テサロニケの信徒への手紙一 5章 16～18節)

この箇所から、与えられたから喜ぶのではない、主は必ず与えて下さるとの確信をもって祈り、感謝していくことが示されております。

更に、釧路教会を覚えてお祈りくださいますようお願いいたします。



この写真はママのためのリフレッシュタイムでみ言葉を聞いています

●連合聖歌隊を釧路へ

連合音楽委員長 真部 恵子 (札幌教会)

音楽委員会は今年度の活動として、札幌教会の協力を得て8月23日～24日、釧路教会支援のための合同聖歌隊を派遣いたします。ぜひ多くの方々にご参加いただき、共に賛美を通して交わりと奉仕の時を過ごしたいと願っています。

参加ご希望の方は、パートを記入の上、札幌教会真部までお申し込みください。Fax 011-582-8595 (真部恵子)

スケジュール (予定)

- | | | |
|-----|---------|---------------|
| 23日 | 7時30分 | 札幌教会出発 |
| | 12時30分 | 釧路教会着 (帯広経由) |
| | 15時～16時 | 子供向けコンサートと交わり |
| | 16時～17時 | 大人向けコンサート |

24日 朝礼拝にて 賛美と証のご奉仕

14時 釧路教会出発 (帯広経由)

19時 札幌着

※現地集合での個別参加もできます。教会および牧師館に宿泊可能です。個人負担でホテルに泊まることも可能です。賛美曲目は集まった人数により決定し、後日参加者に譜面を送付します。

詳細については2信にて参加者へ連絡いたします。

※お問い合わせは

keiko-mana@jcom.home.ne.jp (真部恵子：札幌教会)

obiurono@f1.octv.ne.jp (齋藤聖彦：帯広教会)